

令和6年7月11日
全日本中学校技術・家庭科研究会

一般社団法人 日本産業技術教育学会「[要望声明] 初等中等教育における STEAM 教育の導入とテクノロジー教育の拡充・刷新について」への意見表明

本研究会は中学校技術・家庭科教育の研究ならびに振興を目的として活動を進めている。

中学校技術・家庭科の目標は、「生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とされている。

この基盤となっている生活や技術が、AI や IoT などの技術革新が急速に進展し、予測不能とまで言われるほど激しく変化している。生徒が、これからの社会の中で、Society 5.0 を実現し、自らの人生を逞しく切り拓き、新しい社会づくりの担い手となるためには、技術・家庭科技術分野の学習内容の見直しも必要となると考えられる。

本研究会は、日本産業技術教育学会「[要望声明] 初等中等教育における STEAM 教育の導入とテクノロジー教育の拡充・刷新について」に賛同した上で、以下の点について本研究会としての意見を表明する。

- 1 要望声明は、技術・家庭科技術分野の指導内容の見直しに係る内容であり、教科の再編等について示した内容ではないこと。
- 2 本教科が「ものづくり」を大切にしてきた考えに変わりはなく、要望声明の内容は情報科への移行ではないこと。
- 3 本研究会は、40年以上の歴史を大切に、要望声明の内容に関わらず、今後も技術・家庭科として研究活動を進めていくこと。